

作成年月日：西暦 2020 年 6 月 3 日（Ver.1.1）

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

**【研究課題名】 第 2 回スティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症の全国疫学調査**  
**【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】**

研究代表機関（研究代表者）：昭和大学医学部皮膚科学講座 教授 末木 博彦

診療情報等の提供先：昭和大学医学部皮膚科学講座

**【診療情報の対象者（研究対象者）】**

- 1) 受診期間：西暦 2016 年 1 月から西暦 2018 年 12 月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学皮膚科および共同研究機関の各診療科
- 3) 対象疾患名：スティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症と診断された方

**【診療情報等の項目】**

診療情報等：【1.あてはまる診断基準、2.入院日、退院日、年齢、性別、身長、体重、血圧、原疾患、既往歴、免疫に影響を及ぼす薬剤の使用歴等、3.被疑薬及び投与期間、原因薬剤、4.臨床症状及び検査所見、5.重症度スコア、6.治療、転帰、後遺症】

授受の方法：  郵送・宅配  電子的配信  直接手渡し  その他（ ）

**【研究目的】**

上記の診療情報を使用し、厚生労働省の研究班が実施する「第 2 回スティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症の全国疫学調査」に昭和大学医学部皮膚科学講座が研究代表施設となり、当院は協力機関になります。得られた成果は、病気の予防や診断・治療に役立てたいと考えております。このためスティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症で受診された患者の皆さまのうち、2016 年～2018 年の期間に診断された方について調査します。

**【研究（利用）期間】** 久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2021 年 3 月まで

**【利益相反に関する事項】**

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

**【問い合わせ先】**

（本学）研究責任者：久留米大学医学部皮膚科学講座 助教 田尻 真貴子

問い合わせ担当者：久留米大学医学部皮膚科学講座 助教 田尻 真貴子

電話：0942-31-7571（直通）

E-mail: nagata\_hiroshi@med.kurume-u.ac.jp